

100歳おめでとうございます



中原 ツゲノさん（今福・人柱）
大正10年4月1日生

鷹島町で出生。結婚後は今福町に移り住み、豆腐屋を営みました。

最近、老人会のカラオケに週1回歩いて通い、得意の料理を近所へお裾分けするなど、趣味や家事で忙しい毎日を過ごしています。

中学生がアルミ缶回収の収益金を寄付

中学生によるアルミ缶回収収益金の贈呈式が3月29日、介護老人福祉施設愛光園（久家省三施設長）で行われました。

この取り組みは、平成10年頃から、市内の中学校が協力し、昼休みや放課後を利用してアルミ缶やペットボトルキャップを回収しています。今年は、収益金8万2,700円（アルミ缶約2,540個分）が寄付されました。

志佐中学校生徒会長の橋本快^{かい}さんは「市内の皆さんのためにできる限り尽力したいです。入居されている人たちに使ってほしいです」と話し、生徒会の3人が久家施設長へ目録を渡しました。



令和2年度優良少年消防クラブ・指導者表彰

調川少年消防クラブは4月7日、全国4,352クラブの中から令和2年度優良少年消防クラブとして消防庁長官賞に選出され、消防長より表彰状が伝達されました。

この賞は、少年少女が防火および防災について学ぶ少年消防クラブの活性化や育成発展に寄与することを目的に実施されています。

市内の少年消防クラブからは近年、平成29年に志佐ジュニア消防クラブが優良消防クラブ（消防庁長官賞）、志佐ジュニア消防クラブの谷口哲男さん（志佐・丹花）が優良指導者、平成30年度は御厨少年消防クラブが優良少年消防クラブ（消防庁長官賞）、令和元年度は福島養源少年消防クラブの吉田建也^{たつや}さん（福島・土谷）が優良指導者として選出されており、市内少年消防クラブから優良指導者、優良団体が4年連続で表彰されています。

調川少年消防クラブは、調川小学校の児童52人が所属し、年に5回ほど、市内での消防訓練体験や福岡市防災センターの見学、出初式では大人の輪に入って一緒に行進を行うなど、活動回数の多さが評価されました。

表彰状を受け取った吉岡陸翔^{りくと}くん（調川小6年）は「これまで頑張った分、表彰されて嬉しいです」と話しました。



▲表彰状を受け取った吉岡陸翔くん